

ヤマハニュース

YAMAHA NEWS No.171 SEPTEMBER 1977

走る 跳ぶ 歌う 遊ぶ
盛夏にわいた **サマーフェスティバル** 在 **SUGO**
ルポ/合同免許教室を追って



私とバイク



hi-fi set *Junbe*
Tamamoto

私は映画が好きです。テレビの洋画劇場なんか、一カ月前のプログラムまで憶えている位なので、仕事などで丁度見られない日には朝から「ご気嫌」が悪くなっています。バイクって聞くと、すぐ思い出す映画があ

ります。中学生の頃に見た『恋愛専科』で、トロイ・ドナヒューとスザンヌ・プレシエットが乗っていたスクーターが、今でも私の頭の中のスクリーンを駆け回っているんです。ローマの遺跡とスクーターがとても新鮮な感覚でとけあって、それだけできれいな映画だなあと憧れてしまいました。

スクーターって好きなんです。オートバイクは男性的で冒険と孤独の香りがするけれど、スクーターにはひとり乗っていても誰かが待っていたり、手をつないでいるようなやさしい信頼感があるんです。

パツソルのCMのテーマソングを歌うことになって、レコードのジャケットを撮影した折、私もパツソルに乗ってみました。スクーターなので驚いたのですが、すぐに『恋愛専科』を思い出して、さわやかな気分で走り回ってしまいました。

おかげでスタッフの人たちに「遊んでいいで。撮るよ！」って、チョッピリ叱られましたけれどネ。とても乗り易いので、彼のために買ってあげようかと思っています。お買物をしてもらう作戦で。

ハイ・ファイ・セット 山本潤子



ベランダに。ハツソル!

8階に上った奥さまの足

全国各地の販売店さまによって展開されている、パッソ
ル普及の諸セール作戦。より大きな商圏の開発をめざし、
昼に夜に新しい需要層の育成がすすめられ、ソフトバイク
・パッソルに乗るお客さまはこれまでにない幅の広さで日
常の生活に密着しています。男女を問わず、年齢も16歳か
ら70歳以上までのお客さまが。また、レジャーや買物での
使用はもちろん、一部職種によっては業務需要として使わ
れるまで。さらに、地域性にかたよりなく都市中央から近



郊、農漁村にいたるまで。そ
して、もうひとつの新現象と
しては、ニュータウンやマン
ション等に代表される高層住
宅域のお客さままでが。

いわゆる、専有スペースが
限られたこれまで需要層の対
象外だった人びとの間でも、
パッソルは日々の生活の便利
な足として、愛用されている
のです。

可愛いパッソルだけにいつでも目の届くところに——と、和子さんの願いがかなってパッソルはベランダに

都市への人口の集中化が続く中で目立つ高
層住宅。中心部における一戸建てからマンシ
ョン建築への移行をはじめ、近郊地のニュー
タウン化現象など、いまやその傾向は毎日に
勢いを増しています。ちなみに総理府統計局
の報告をみると、わが国における全住宅の2
割強が2階以上の建築物。そして、このうち
共同住宅については約4割が3階以上で、さ
らに6階以上の高層住宅はそのうちの1割を
占めているといえます。



縦113cm×横105cmのエレベーターにもこの通り



ここに紹介する和田和子さんもこの1割に
属される方で、東京は葛飾にそびえ立つマン
ションがお住まい。しかも、愛用しているパ



ツソルの車庫が最上階の8階にあるという、文字通り高層住宅地のパツソル・ユーズーのおひとりです。

和子さんは語ります。パツソルの効用性について――

「ここ葛飾は、都内でも一、二を争う交通渋滞の名所。ですから、うちではクルマもあるんですが、ちょっとした用事や買物にはパツソルが一番重宝しているんです。じゅずつなぎに止っているクルマを尻目に、その脇をスイーツと通り抜ける時なんか、バイクの便利さを感じますネ」

地下一階が駐車場になっているこのマンション。もちろん、駐車場には和田さんのクルマも置かれています。しかし、パツソルはどうかというわけか8階のペランダに――

「最初はクルマの脇の空スペースに置く予定していたんですね。でも、ガレージにパツソルじゃ絵になりませんし、また子供たちがイタズラしてケガでもされたのではと……」

そこで、ものは試しとちょっとエレベーターに乗せてみたんです。6名用の、小さなエレベーターなんです。斜めにすれば充分に乗るではありませんか。これなら私にだつて上まで運べる。ってことで、ペランダに置くことにしたんです」

ペランダからエレベーターまでは5メートル。そして、エレベーターは駐車場に連結さ



れているため、パツソルの出し入れはものの3分。和子さんによるパツソルの使用頻度は、増々エスカレートするばかりです。

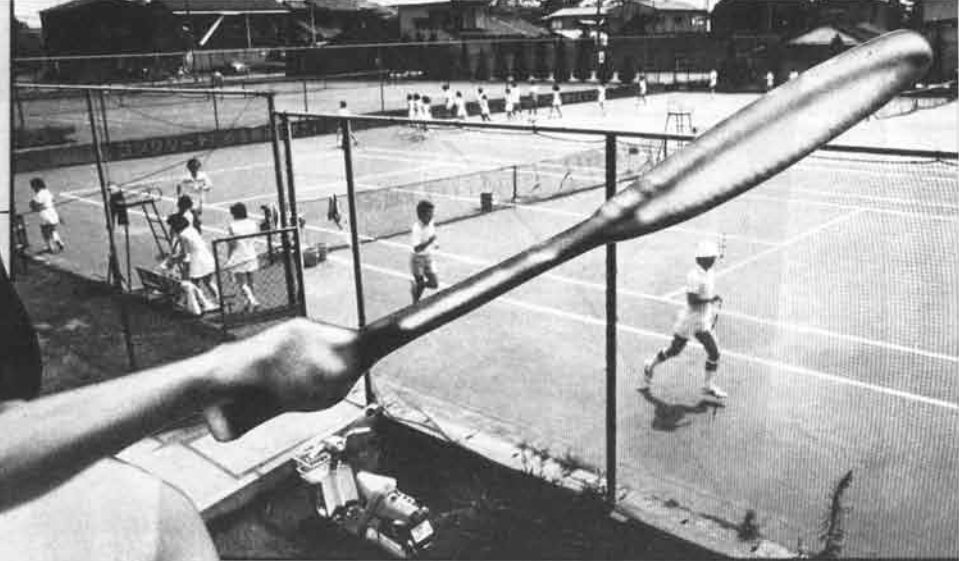
「ついこの間、お友達と家から2kmほどの所にお茶とパイを揃えたお店を開いたんですが、そこの往復もついついパツソルを使うことが多くなつて……。クルマで出かける時は子供も一緒だったので、このところ少々ご気嫌をそこねられてばかりいるんです」

クルマが好きで、今まではバイクに乗るなんて考えてもみなかったと語る和子さん。初めてバイクを意識したのは八千草薫さんによるパツソルのテレビCMからとのことですが、いまでは「私にはクルマよりパツソルが似合っている！」とすっかりバイク派へ転向した和子さんです。



ソル

INFECTION



きょうもパツソルで

「青春をエンジョイするため……」
と、パツソル購入のアンケートハガキを寄せてきた宮本章代さん。東京・板橋区の自宅から日本橋の事務所に通う明るいOLのひとりです。

パツソル購入の動機は、風をきって走る爽快さに魅入られたから。高校を卒業して間もなく普通免許を取得したという章代さんにとって、箱の中の乗りものより、自分の手足のように動かせるバイクのほうが、いろいろと便利に見えたことは事実で

す。四輪ではついに出かけきれなかったテニスの練習も、パツソルを得てからは、ちよくちよく通いだしたくらいです。

「パツソルならもうだいぶ自信がついたのですが、テニスのほうはまだぜんぜん。ラケットにボールが当たってくれないの。でもバイクで走るといふことは本当にすてきなことです。乗ること自体、走ること自体が何か新鮮で、男の子たちがバイクに夢中になるのがよく分かります」という章代さん。その章代さんのパツソル評は――

「一言でいえば、フィーリングの良さ、というところにつきますね。男の子も、女の子も中性化が目立つヤングの世界といわれますが、私たちの仲間でも、バイクに乗ってみたいという女性は、意外と多いのよ。でも、やっぱり女性はソフト。乗って簡単、スマートに自分を見せられるものでなければ共感を得られないわ。その点で、おしやれて、足をそろえて乗れるパツソルはいちばんね。車体も軽いし、押し歩きも自転車なみ。お店のみなさんが、若い女性たちにもっと接触する機会を多くつくれば、バイクの世界も変わってくるのでは……」とのことでした。ともかく、パツソルを得て、まさに青春をエンジョイしている章代さんでした。



わたしの友だち やさしいソパツ



◇乗り手をスマートに見せるパッソルです
○パッソルを得て、ふだんの生活もまた行動的に変わりました。乗ることに新鮮な感覚が味わえるというのが女性のバイク感です。



スタートした「パッソル奥さま」
名古屋

私は

免許教室ガイド役

乗って、走って

バイク相談



今日もさつそうと団地を走るパッソル奥さま野々山さん

「奥さま方の暮らしの輪の中にパッソルを投入してみよう」—日常生活の場からソフトバイク市場の拡大をはかる新しい試みとして名古屋支店営業／普及では、一般のお客さまの中からとくにバイクについて理解の深い女性のお客さまの協力を得て、パッソルを実際の足に、原付免許教室の受講、パッソル購入のガイド役をとめる「パッソル奥さま・システム」を発足させました。

スタートから1カ月、選ばれた「パッソル奥さま」の活躍は目覚ましく、各地でソフトバイクの便利さをアピール、やさしいガイドが行なわれて好評です。もちろん、この成果は販売店みなさまにフィードバックされるもので

□話題の伝播速度がひとときわ高いのも団地の特徴。
 パッソルはどこへいっても話題の中心
 □マーケットの自転車置場でもひとときわ目につくオ
 レンジ・パッソル。サークルで一緒にの奥さまと



すが、家庭の主婦をオピニオンリーダーとして新しい需要創造にトライするこのシステム、お店でも奥さまを中心にぜひ運営してみたいかがでしょう。

団地のサークル活動を通じて

行動的なバイクライフをアピール

「パッソル奥さま」の活躍ぶりの一面をここにご紹介しましょう。

野々山浩子さん、26才。名古屋市の東のはずれ、守山区の市営団地にお住いのヤングミセスです。周辺新興住宅地の「パッソル奥さま」の一人としてこのシステムに参加された浩子さんは、ご主人と女の子さま一人の3人家族で、卓球、テニス、水泳が得意。家庭生活の余暇を団地のサークル活動にあてている朗らかなスポーツウーマンです。

「新興住宅地の例にもれず交通は不便、自動車は税金、保険、ガソリン……と経費がかさみすぎるので、ぜひバイクを生活の足に、と思っていた折りに「パッソル奥さま」の募集を知って、私がパッソルに乗りながらバイクのある活動的な暮らしを周りの人にも……と思ったのです」というのが参加の動機。

取材に伺った時も、団地の同じ棟の奥さまがたに囲まれて野々山さんとパッソルは「井戸端会議の主役」といった感じでした。

「すでに同じ棟の奥さまから免許教室受講の申込みがありました。それもその奥さまのお友達2〜3人と一緒に、ということでは予想以上の反響に驚いています。もう同じ棟の奥さまは私のパッソル姿はみなさんご存知。走る機会が増えるほど、バイクに乗りたいたいという奥さまも増えそうですね」

——と、当初は「免許を取りたい」「バイクに乗りたいたい」という女性がそれほど多いとは思

□アフターサービス、免許教室の開催をつとめる窓口店・ウスイサイクルショップさんへ点検をかねての近況報告



◇安全運転のPRも大切な役目。ヘルメットのアゴヒモの結び方も完全にマスター。中央メガネの女性は大倉綾子さん（名古屋市）「学習図書の配本、幼稚園の役員と人と接する機会が多いので、そんな機会にパツソルのよさをPRします。団地という所は自転車を新しくしただけでも話題になる所、パツソルもきっと大きな話題を生み出していくでしょう」



◇八千草さんと同じヘルメットで乗り方をマスターするみなさん

ソフトバイク市場を拡大する 奥さまのロコミ

えず、免許教室やバイク相談の対策をあれこれ考えていた野々山さんでしたが、毎日の買い物に、サークルへの往復にとパツソルで走り出してみると、周囲の反響の大きさにいまさらながらびっくり。
窓口店を務めるウスイサイクルショップさん（白井一社長）への受講希望者の報告も日を追って数を増しているところだ。

この「パツソル奥さま」は、原付免許取得者に占める女性の割合が急増している全国的な傾向の中で、比較的女性層の伸びが遅い名古屋市周辺にマトを絞って実施されているものです。

「パツソル奥さま」は、あくまでも免許教室のガイド役、バイクライフへの案内役として、パツソルユーザーの立場で、バイクの利便性、経済性をアピールしていく点にとくに主眼が置かれ、初めからストレートなセールストークの展開が控えられているのが特徴。
居住地域の特性、年代の幅、職業の有無、サークル活動の経験等を考慮して団地新聞「奥さまジャーナル」を通じて募集、応募された方々はバイクの乗車経験のある奥さまが半数。また半数は普通免許所持者です。

免許教室への募集報告は定期的な、また見込み客の報告は早い時と、電話連絡による密接なコミュニケーションが計られています。「第一歩として奥さま方の普段のおつきあいの場にパツソルを持ち込み、まずは話題をつくりバイクへの理解と関心を深めていただく」という当初の目標を早くも越えて、市場の拡大にまで力を及ぼしている「パツソル奥さま」です。

特集 走る 跳ぶ 歌う 遊ぶ
 走る 跳ぶ 歌う 遊ぶ
 盛夏にわいた
サマーフェスティバル イン SUGO



国内では初登場のYZR 750で、豪快なロードレースのダイゴ味を見せた金谷秀夫

みちのくの山々の深い緑、あくまでも澄みきった青い空、たくましくわき上がる入道雲、そして惜しみなくふりそそぐ真夏の太陽。
 美しくさわやかな自然の恵みをぜいたくなまでに享受して、恒例となつた「サマーフェスティバル・イン・SUGO」が8月6、7日の両日にわたって延べ1万人を超えるお客さまを集め、スポーツランド菅生で盛大に開催されました。

大自然を縫って走るテクニカル・コースを舞台に繰りひろげられたロードレースは、金谷秀夫選手を頂点とするエキスパート750ccから、ジュニア・エキスパート350cc、125cc、ノービス・ジュニア250cc/90cc、ノービス125cc、プロダクション250cc/125cc/90ccの6レース、延べ100名の参加で挙行。プロダクションレースには女性ライダーも登場するなど話題を盛りあげた。5月のTBCビッグロードレース以来、東北地方にも菅生のロードレースはすっかり定着し、新しい気運が盛りあがっている。なお、10月22・23日は第2回TBCビッグロードレースがこ菅生で開催される。

S L O W
ロードレース大会



☆女性ライダーも加わったプロダクションレース
 ○鍛えぬいたマシンと人が、緑の自然を縫って走る

全てのモータースポーツを一堂に

見て、参加して楽しんだ真夏の祭典

「人と自然とマシンのふれあいの場」として、1975年5月にオープンしたスポーツランド菅生は早くも3年目の夏を迎え、年ごとに拡充が加えられた諸施設のもと、より多くの方に、より満足していただける総合スポーツランドとして成長しています。

このスポーツランド菅生を舞台に毎年行なわれる真夏の祭典「サマーフェスティバル・イン・SUGO」は、ロードレース、モトクロス、トライアル、カートレースとあらゆる

モータースポーツが一堂にかいして開催されるという世界でも他に例を見ない催しとして注目され、いまやすっかり夏の恒例行事として定着したものです。

北は北海道から南は沖縄まで、延べ750人の選手団が参加した今回のフェスティバルには、はるばる海外から駆けつけた外人選手活躍をみせたアメリカの少年兄弟、カートレースで人気を集めた香港の女性ドライバー、

そしてトライアルのアメリカ人ライダーなどで、いっぽう報道陣もアメリカ、カナダから多数の記者、カメラマンが取材に訪れ、国際色も豊かに一段と盛り上がった大会となったものです。

すべてのモータースポーツが一堂に集まっていたのサマーフェスティバルは、見る側にとってもまたないチャンス。プログラムを片手に「今度は金谷選手の走りを見に行こう」「次はカートだ」といった姿がそこに見られるのです。また、これらの人々にはモータースポーツ以外にもビッグなプレゼントが用意されました。

昼休みにロードコース本部前で行なわれた観覧席も鈴なりの盛況。彼我一体となつてのプレイに菅生はわきにわいた



観覧席も鈴なりの盛況。彼我一体となつてのプレイに菅生はわきにわいた

楽しい歌とダンスの「ミュージック・イン・SUGO」。

交通公園における「パツソル乗り方教室」緑の広場での「77ヤマハフェスタ」のバイク展示会と植木市、さらに冒険ジャルダンの「ジャルダンまつり」……と盛りだくさんの催しものが目まぐるしくおし。

いっぽう、新設された25mプールで入道雲を見ながら水遊びに興じる子供たち。夜はキャンプ場でツリーリング仲間同士の語らいに夜のふけるのを忘れた若者たち。

こうして参加選手も、一般のお客さまも、充実したスポーツランド菅生ならではの施設で、走り、跳び、歌い、そして遊んで、この夏いち番の楽しい思い出をつくったのです。

SLモトクロス大会

「日本で最高のコース」と評判の菅生ハイランドは、新たに本格的なスターティングマシンと観覧席も設けられ、一層素晴らしいモトクロス場となった。全国各地のSLシリーズ戦を勝ちぬいてきた精鋭たち360台のマシンが参加した今回はミニ50・80ccクラス、YZ80ccクラスを含め、セニアまで全レースが内容を充実。ノービス、ジュニア90cc、125cc、250cc、エキスパートジュニア125cc/250cc、セニア250ccまで11クラス、予選、敗者復活、決勝の12レースが大空のもとに熱戦を繰りひろげた。来る10月8・9日にはモトクロス日本グランプリがこのコースで開かれることになっている。

見るにも最適のサマーフェスティバル

「相馬輪業」 相馬光男社長(宮城)

菅生から車で約1時間半の所にある相馬輪業さんは、場所から菅生は庭先の感じ。ご自身トライアルを初めて2年、お客さまと一緒にトライアル走行を楽しんでいます。当然フェスティバルには毎回参加していますが、選手として出場したのは今回が初体験。



新設のスターティングマシンと一緒にならびグランプリ気分



セニアライダーを育てるのが夢
「テラ・サイクル」寺嶋武社長(埼玉)



「それ行け！」クラブ員と一体
となって声援を送る寺嶋社長

菅生のオープン以来、毎年お客さまと一緒に参加している寺嶋さんは、かつてモトクロスインストラクターもつとめたベテランで「テラ・レーシングクラブ」のオーナーです。クラブ設立の当時、鈴木都良夫選手がまだ中学生の頃に手ほどきをしたのが寺嶋さん。「自分がセニアになれなかつたので、セニアライダーを育てるのが夢」という寺嶋さん。現在はジュニアで全日本ランキングのトップに立っている小沢孝選手に期待をかけているとのこと。

毎月、ミニモトクロスレースとトライアルを交互に開催している寺嶋さんは、健全なモータースポーツの育成と発展に心からの情熱を燃やしています。

お客さまと一緒に楽しんだ販売店さま



「とにかく楽しいのひとことにつきるんですが、フェスティバル自体の良さの他に、普段なかなか合う機会のない人に合える絶好の場でもあるんですよ。ま、人々の交流の場としての祭典でもあるわけで、さらに多くの方々に利用してもらいたいと思ってですね」と語っていました。

「やはり菅生のコースはいいですね、今後自分たちが主催するための勉強にもなりました」という相馬さん、サマーフェスティバルについては「やはりいろんなモータースポーツを一度に見れるというのが一番の魅力ですね。それに、スポーツ以外にもいろいろな楽しみ方ができるので、お客さまを選ばずにご案内でき、喜ばれています」とのこと。

人々の交流の場としての夏の祭典

「スポーツショップ・イシイ」
石井重行社長(東京)

かつてモトクロスのエキスパートライダーだった石井さんは、お客さまやお店の従業員の方たちと一緒にロードレースやモトクロスに出場、自らはRD250でプロダクションレースに参加しました。

サマーフェスティバルの意義について石井さんは、



Vサインでポーズをとる相馬輪楽さんのトライアル仲間(後列右から4人目が相馬社長)



SLカートレース大会

9月22日からの日本で初めてのインターナショナルレース「'77ジャパンカートレース」をひかえ、また各地でカートランドがオープンしているように、カートの人気も急上昇。それを反映して、今大会にも延べ240人という多くの選手がSL/Sストック、SL、S、Aクラスに参加、とくに女性カートの増加に伴い、レディースクラスも設けられて華やかな雰囲気の中にもスリルに富んだレースが展開され、新しいモータースポーツの息吹きをよく感じさせた。



◇ 真剣なまなざしでアドバイスをうける女性カ
ーター。がんばってね。
☆ It flies on the earth、スピードとスリル
と声援にわいたカートコース場

◇ 熱い視線を全身にうけて妙技を披露す
る木村治男



地元・宮城テレビも取材にかけつけた。インタビューをうける加藤文博と大月信和

SLトライアル大会

広い大自然に包まれた菅生はトライアルには絶好の場所も多い。うっそうと茂る木々の緑とこもれ日、そしてさわやかな木立の風をうけて行なわれたトライアルは、ノービス、ジュニアの2部門に、加藤文博、木村治男、畑山和裕のデモンストレーションと大月信和の解説が加わった講習会との併催で、人とマシンと自然とがおりなすバランスの妙味に多くのファンの目をひきつけた。





CHAMPION SPARK PLUGS

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

SUGO



スティバル イン SUGO



☆
ブラボーノサマー
フェスティバル!!



◇明るい顔・顔・顔、モータースポーツの世界



◇さわやかなお色気で楽しませたゴールデンハーフスベシヤル
◇歌とダンスの大熱演、由美かおる



一家総出のキャンプ・イン



〇はるばるアメリカから
も……モトクロス兄弟



キャンプ場はツーリング仲間で大にぎわい



緑のトンネル、冒険ジャルダン



夏まっさかりスポーツランド管生



女性に大モテ！パッソル乗り方教室



ドック

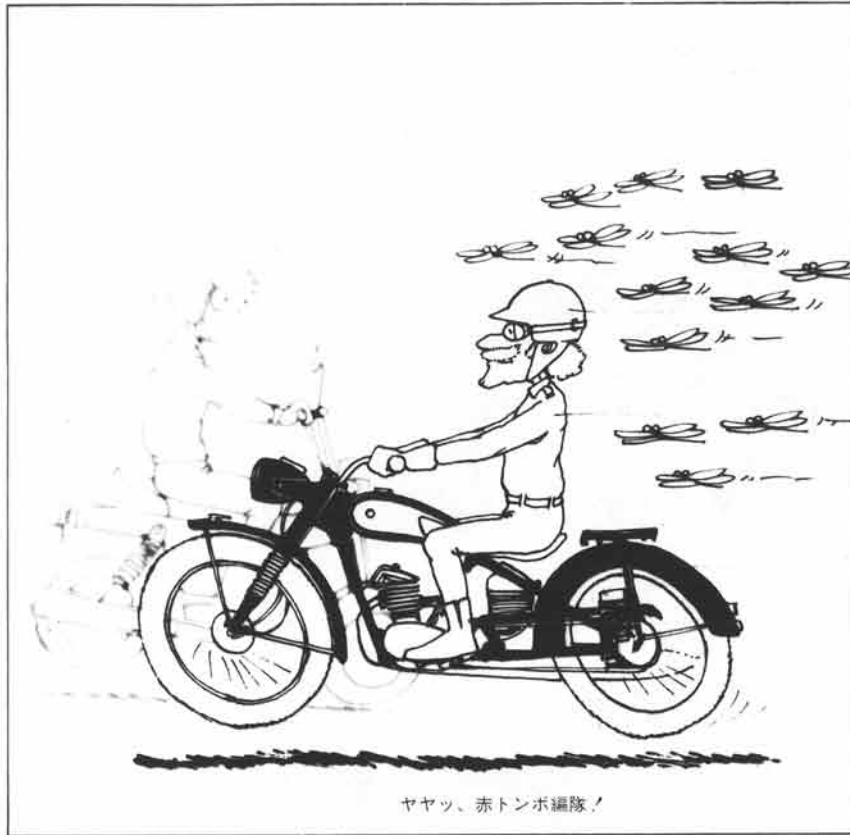


9月20日は彼岸の入り、暑さもこの頃まで、いよいよ一日と秋の気配も色濃くなっていきます。

スポーツの秋、食欲の秋、行楽の秋、読書の秋……なにをするにも最高の季節。でも夏バテが残っていたり、季節の変わり目に体調を崩したりでは、こんな季節も台なし。大切な秋の商戦のスタートに、ちよつと毎日の健康にも目を向けてみませんか？

風邪ひき金魚

「ま夏日」といわれる厳しい残暑が何日



ヤヤッ、赤トンボ編隊!

秋、9月とはいえ、まだまだ残暑まじしき折り、陽傘に降りそそぐ光りにも真夏のまぶしさがいつぱいです。でもパツルでちよつと走ってご覧なさい、風はもう秋のさわやかさ。「秋来ぬと目にはさやかに見えねども 風の音にぞ 驚かれぬる」昨今です。(写真/オリオンプレス)

かつづいたかと思うと、一転して肌寒い低温の日がやってきたり、と夏から秋への季節の変わり目は、気候の変化に体調がついていかないほど、めまぐるしい時期でもあります。

こんな時の支えはなんとといっても日頃のスタミナ。夏バテや日頃の無理がたまつていては、ちよつとの気温の低下にも、すぐ風邪をひきやすくなるもの。

風邪は万病のもと、といわれ人間だけのものかと思っていたら金魚も風邪をひくのだそうです。

温水性のために、急激な水温変化にも逃

げ場のない水槽の中では、順応しきれないため、動きが鈍り、餌もたべず、体表が全体に白い雲がかぶつたようになるのが症状。こんな金魚の風邪は、暖かい場所に移し、ゆつくり水温を上げてやればよいのですが、人間の風邪は、金魚ほど簡単にはいきません。十分な休養と睡眠が第一。この季節くれぐれも風邪にはご用心。

体の疲れ、心の疲れ

セールスとサービス、毎日のご商売は体とともに気分的にも疲れることがあるものですね。

「何となく疲れた」この頃のような季節の変わり目にこんな症状を感じませんか。

どうもスッキリしない疲労感、これは体と心の疲れが、どちらかに片よりすぎているために起こるものです。体の疲れ(疲労)と疲れた感じ(疲労感)は別物。

いいかえれば、肉体疲労と精神疲労で、前者は休養を取れば回復しますが、後者はそうもいかず、この精神疲労の方がめんどろなことはいうまでもありません。

とはいえ、この疲労感も、多くは運動不足で、気ばかり使っていることが原因になっているケースが多いようで、こんな時は思いっきりスポーツでもして、体を使ってみるのも一法、体が疲れないから、よけい気が疲れるというわけです。

肩の防止法

運動不足、一日中机に向い通しのサラリーマンとちがって、バイクの取りまわし、立ったり、かがんだりの修理や整備……お

店のお仕事は一見運動不足などとは無縁のようですが、やはり同じ姿勢、同じ動作がつけば体全体から見れば運動不足も起こりがち。

第一の自覚症状は「肩こり」。予防のコツは、背すじを伸ばし、姿勢を正して同じ作業を長時間続けないこと。

首から肩、背中を十分に動かすように、仕事のあい間の軽い体操も効果抜群。肩を冷やさないこともまたとても大切なことです。

適度な運動は、体力を増すためというよりも、体力を維持するためのもの。月一ゴルフよりは、毎日の体操の方が何倍か効果的なことはいまでもありません。

女性のつよめ

さつそうと走る奥さまのパツル姿、年代を越えて、見た目にも気持のいいものですね。見るからにたくましそうなお母さんこれも女性の魅力のひとつです。

古くは「靴下と女性」。最近ではウーマンパワーなどといわれる女性をつよめ。そんな弱い男性のヒガミの見方は別にしても生きのびる力は、やはり女性の方がつよめ。つまり体力には、精神的、肉体的困難に耐えぬく性質、防衛体力もあるのですが、寒さに対しては皮下脂肪が多いほどつよめ。当然男性よりは女性、また酸素不足にも女性の方がつよめ……さらに平均寿命は女性の方が高い、というように総合的な防衛体力は女性の方がつよめ、ということになりそうです。

働く女性、家計を守る主婦……やはりどうみてもガードは女性の方が堅そうですね。

ヤマハ原付免許教室



今年で8年目を迎えるヤマハ原付免許教室。もはやお店の商売から切り離して考えることはできない、といわれるように、ヤマハ原付免許教室は全国各地で積極的に展開され、新規需要の開発と育成に大きく貢献しています。

そして、さらにその豊富なシステムと高い合格率に裏打ちされたやさしい免許の手ほどきは各方面からも注目を集め、テレビや新聞、雑誌等のマスコミ関係とのタイアップが実現するなど社会的な評価も高くなり、ヤマハ原付免許教室への信頼は各家庭にまで急速に浸透をつづけているのです。

県内全域に免許教室の風を

今年7月から9月にかけて展開中の富山県下における合同免許教室の開催も、新規需要の喚起に大きな成果を上げている好例のひとつです。ヤマハ北陸(株)富山営業所(鈴木貞雄所長)と県下のヤマハフレンド店会の絶妙なコンビネーションは、予想をはるかに上回る原付バイク・ユーザーの喚起を果し、新規需要の拡大をもたらしました。

鈴木所長のねらいは、次のお話からうかがうことができます。

「この富山県は、もともとバイクの普及が遅れていた地域。それだけに、バイクの最需要期を迎え、潜在需要の喚起を促すにはそれなりに大きな刺激となる強力なインパクトを市場に与える必要があったんです。県内全域、

☐ 受けを済ませたら、すぐに写真撮影。そして次の日には、もう申請書が作成されます

社会性を帯びて高まる評価



「免許教室は集まらない!」といわれていた富山市内。しかも、今回の開催でその神話は見事に砕かれた——

北日本原付免許

推進本部・協賛 北日本新聞社・協力/県



認識あらたに、原付バイクへ高い関心

北日本新聞社・営業部長 高島 稔氏

ヤマハの鈴木所長からお話があった後、最初は一新聞社が免許教室を開催するなど筋違ではないだろうかと思いましたが、この間、ヤマハの原付免許教室に対する真摯な取組みに共感し、今回の「北日本50ccバイクの原付免許教室」への協賛に踏み切りました。

現在はエネルギー消費や排気公害、交通渋滞、駐車スペースなど四輪に対して何かと問題が多いときでもあります。それだけに、これからの乗りものの主流ともいえるヤマハ・パッソルに代表される原付バイク等の普及は意義が大きいと確信したわけです。

当社では、これまでも料理やレジャーなどの教室を開催したことはありましたが、今回の免許教室はなかでも一番反響が大きく、また交通安全の認識も新たに強くしたという意味からも、期待以上の成果があったと思っています。

反響呼んだ 北日本新聞とのタイアップ

くまなくヤマハ原付免許教室を開催するこの大規模なセールス・インパクトは、またそのための告知による宣伝効果とも相乗して必ずや新規需要の開拓に大きな成果を得る、これが今回の免許教室作戦の第一の目的でした」



この免許教室作戦における開催回数は、20会場22開催。そして、そのための告知のツールとしては40万以上もの地区別折込みチラシを用意したのですが、さらにこれを上回る反響を集めたものとして北日本新聞社とのタイアップによる各種告知があげられます。

主催はヤマハ安全運転推進本部ですが、免許教室の名称は「北日本50ccバイクの原付免許教室」と統一。開催告知は、前記チラシのほかに北日本新聞社会面への全5段広告（2回）をはじめ、販売店用告知ポスター（北日本新聞社作成）やテレビ・スポット（北日本



北日本新聞社とヤマハの社旗を前に――



○150名の受講者を相手に受付けを担当
その仕事ぶりもさることながら有力見込
客の獲得に意欲を見せるサイクルショップ・
ブ・サカイ(酒井 宗一社長)の奥さま
恵子さん(奥)

○開催を控えて、営業所でのミーティング
(一番奥に立っているのが鈴木所長)



この市場を狙え！合格した時から有力な新規のお客さまに突るのだから……

放送／10秒21本)等、大規模な展開によって
これまでにない宣伝効果をもたらす結果にい
たっています。

意気上がるフレンド店会 114店が一丸となって協力

そして、こうした気運をさらに盛り上げた
のが、県下144店のヤマハフレンド店さんによ
る絶大な協力態勢です。

去る8月3・4日、富山県民会館を会場と
して開催した富山教室では、予想をはるかに
上回る150名が受講。会場を急拠、大集会
室へ移すほどの盛況ぶりをみせたのですが、
ここでも販売店さんの活躍は大きく、原付免
許教室への取組みと、その後のアフターフォ
ローの徹底による実販への結びつけに対する
強い姿勢がひとときは印象的でした。

予定を半分終了した時点で、早くも当初に
見積もっていた数字の5割増を記録した今回の
免許教室作戦ですが、鈴木所長は最後に今後
の抱負を次のように語ってくれました。

「北日本新聞社さん、フレンド店の皆さんの
協力により、今回はあらゆる面にわたって当
初予定していた以上の成果を得ることができ
たと確信しています。また新需要層につい
てもまだまだこちら側の掘り起こしが足りない
だけで、今後も働きかけひとつで市場の拡大
がいくらかでも望めることがわかっていただ
けたいと思います。」

あとは販売店さんによるこれらの働きかけ
と、そこでの集まった人たちに対する正しい
乗り方指導と実販化の問題だけ。今回の免許
教室をみても感じたことですが、その後の
フォローを徹底しているお店がやはり実販
率もそれだけ高めているわけですから、これ
がその答えになるでしょう。」

この新需要喚起を実販に!!

主催者の一人という自覚をもって



サイクルショップ・カミシマ
氷見(ひみ)市比美町
神島 四郎社長

氷見地区では7月20、21日に地元の農協協会館で開催。70名を越す受講者を集めたものですが、とくに目立ったのが従来あまり販売店には縁がなかった人たちの参加です。

終始つき添い印象残す



しぶやサイクル
新湊市立町
渋谷 英社長

ヤマハ原付免許教室始まって以来、自主開催を続けていますが、この間に感じたことは受講者の実販率の高さですね。ですから、今回の合同免許教室にかける期待は当初から大きく持っていました。

合格者はその日の晩に必ず訪問



杉本舗業商会
婦負(ねい)郡八尾町
杉本 茂社長

雪が深いこの地域は、それだけ実際の商売の期間も短かいといえます。しかし、雪解け

講習前に受講者から聞いた話でも、大半の人たちが新聞の広告を見てたまたま近くの販売店に申し込んだとのこと、それまでは販売店との付き合いは皆無という人たちがばかりまさに新規需要層なんです。

合同免許教室というところ、どうしても販売店の手を離れたらなるようですが、こんな絶好の市場をそのままはおく手はありせん。今回、うちでは店の裏が市役所ということとで女房に率先して全受講者の住民票をとりに行かせ、また私は試験場への送迎を引受けるなど、主催者の一人として積極的に参加したつもりです。おかげさまで試験後などに相談を受けることも多く、それが実販へと結びついています。

この経験を、次には自主開催で十二分に生かしていきたいと思っています。

新湊地区の免許教室は4店合同で7月13、14日に開催。全受講者は33名で、そのうちの16名は当店で受けつけたものです。それだけに会場に集まった受講者をいかに当店で呼び込むか、そしてさらにそれらのお客さまをいかに実販に結びつけ、正しい乗り方指導をするかが、私の課題であったわけです。

当然、免許教室の開始から試験場への送迎まで受講者と行動をとりましたが、ここで試みたのが受講者への印象づけです。第一日目の受けつけの時、たまたま赤い服を着ていたのが最後まで覚えて通したわけですが、翌日からはさらに胸に「北日本原付免許教室新湊教室世話係・しぶやサイクル」の名札を掲示。その後の追跡アプローチでも、皆さんが「しぶやサイクル」の名を覚えていくことができました。

が仕事始めとイコールするかといえば、そうではありません。

うちでは、2月に免許教室や春の予約のためのDMなど下準備を、そして3月からは実際に免許教室を開いて需要開拓を進めていますが、そこで得た結論は「合格者にはその日のうちにアタックする」ということです。

たとえば、最初はバイクが欲しくなかったとしても、実際に合格したとするとどんな人でも乗りたくなるもの。合格したその日のうちに訪問するということは、その時の気持ちの動きを逃さないということなんです。

こちらは「北日本原付免許教室」は7月13、14日に開催しましたが、この時も当店で受付けたお客さまに対しては合格したその日のうちに訪問できたので実販率は高く、さらに自信をつけた次第です。

信用第一！お客さまがお客さまをつくる



佐渡モーターズ
下新川郡朝日町
佐渡 茂社長

嫁入りにはバイクをつけるといわれるぐらいに普及率が高い当地区での商売のモットーは、まさに信用第一。

うちでは、全体の3分の2は免許教室で育

この盛り上りに乗じて定地・定例化を



松村自転車商会
滑川市河端町
松村 昭男社長

免許教室を開催するようになってまだ日が浅い当店にとっては、今回の北日本原付免許教室による新需要層の一大喚起はまさに絶好の舞台作りといった感じでした。

次は我々が主体となって需要開拓



秋元自転車店
中新川郡立山町
秋元 良一社長

もともと原付バイクの普及が多い当地区では、商売の要となつているのが原付免許教室の開催なんです。

それだけに、うちではこれまでかなりの時

つたお客さまですが、これも長年にわたる免許教室への信用があればこそといえます。

受付け時には必ずお金を受け取って、用紙をお店で作ってしまうこと。また、出張試験には必ず同行することで受講者との信頼を築き、そのために今年からは乗用車をマイクロスパスに買い換えて大いに活用しています。

こうしたことは、今回の北日本原付免許教室でも同じで、お客さまとは密着行動をとり合格後は一〇〇%実販に結びつける作業に取り組んでいます。

さらに現在は、北日本原付免許教室でひろいきれなかったお客さまを重視して、近日常に単独で免許教室を開催する下準備をすすめており、より大きな新規ユーザーの獲得をめざしています。

北日本新聞と北日本放送といった、二大マスコミによる大規模な宣伝告知は、ヤマハ原付免許教室それ自体をイメージアップしたといえ、それだけ当店としてもより多くの新規受講者が期待できるわけですから。

滑川教室は、7月20、21日に地区公民館で開催。37名の受講者が集まったのですが、当店からは6名を送り込み、すでに3名のお客さまにパツソルを購入していただいています。

合格した人は一緒に喜び、落ちた人には励ましを。そして、その後も一回だけは必ず再度のチャンスを与えて、フォローを万全にしています。今回の合同免許教室では多くの教訓を得ることができたので、今後の当店単独による定地・定例の免許教室の開催はその経験を存分に生かしていきたいと思っています。

間を免許教室にあててきたんですが、今回の「北日本50ccバイクの原付免許教室」はそれをさらにフォローするかたちで開かれたという意味で、大きな意義があったかと思つています。

単独開催を続けてきた教室ばかり、5〜6人を対象に膝をつき合わせた教室ばかり。今回のように57名の受講者を相手にしたからは、それこそお店の印象を植え付けなくてはと店名を明記したプラカードをあわせて作った次第です。

これまでも、パツソルの展示会用BGMをベールに独自の免許教室告知テープを作成して街中を練り歩くイメージ、自分なりに「免許教室のお店」というイメージ作りを続けてきましたが、今後はさらにこの大きな実績をふまえて新規需要の創造活動を続けていきたいと思っています。

シーズン中は“無休” これが北国の販売店なんです でも将来は……

林 雅子さん (有)林モータース〔林 春雄社長 夫人〕



「うちでは女房が社長」とご主人が冗談をいうほど、お店のいっさいをとりしきっている雅子さん。でもお子さんのおねだりには……

好むと好まざるとにかかわらず、一年を半年で暮らすいい男？にならざるを得ない、北国、雪国のバイク販売店さん。それだけに、温暖な地区のお店と同様のためには、4月から11月のバイクシーズンには、大忙しの毎日をごさされるお店が少なくありません。

北海道、札幌市の(有)林モータースさんの奥さま、林雅子さんも、日々の仕事に忙殺されるご主人を助け、接客、販売、経理事務、そして外回りの仕事と、修理以外の仕事を全面的に担当、まさに八面六臂の活躍で大奮闘。ご主人とのみことな二人三脚で北国のハンデキャップを克服し、北海道でも有数なヤマハフレンド店として、多くのお客さまを集めています。



ずらり並んだハッソルと原付免許教室のウィンドーステップカー。そして欧米有名外車のマークを飾った林商會さん



納車準備が済まされれば雅子さんにハトタッチ。こんどはナンバー取得へ書類点検

雅子さんが、忙しげに立ち働くお店は、札幌市民のオアシス・中島公園から、札幌を象徴する豊平川にかかる幌平橋を渡った地下鉄「平岸駅」の近くで、作業場、展示スペースを合わせて25坪の店舗。千歳方面に向う国道に面しており、あたりは住宅街です。

1日の来客80名もなんのその

バイクシーズン中は、“無休”を原則としている林モータースさんでは「休む日は台風の日ぐらい」とのこと。土曜日ともなると高校生を中心に70〜80名の来客で賑わい、1日に5〜6台の販売契約をすることも珍らしくないといった繁盛ぶりです。雅子さんはテキパキと応対していきます。

お店のスタッフはご主人と雅子さんだけ。しかも中学生と小学生の2人のお子さんがいる雅子さんの忙しさは想像に難くありません



この日、2台目のMR50の納車点検をすすめているご主人さまのそばでお客さまと

が、1日の仕事は朝6時の起床で始まります。朝食の仕度をすませ、お子さんを学校に送り出すとすぐ開店で、これが8時頃。店の片づけ、掃除をすますともう早目のお客さまがきます。あとは接客、販売登録のための書類書き、クレジットの書類づくり、経理事務、またこうした仕事の合間を見て、買い物、区役所への登録手続、集金など、諸々の用足しのため外出、とゆつくり座る暇もありません。夜遅くにこられるお客さんも多いため、閉店はほとんど9時を過ぎますが、雅子さんの仕事はこれで終るわけではありません。というのは、ご主人の春雄さんが、働きの雅子さんに優るとも劣らない自他ともに認めるスーパーマンで、閉店後も修理の仕事を12時過ぎまで続けるためです。

二人三脚、職人気質のご主人と

ご主人が修理に専念しなければならぬのは、こんな事情という訳があります。

ご主人は昔から大の外車マニアで、人もうらやむ高級車を何台も所有しており、道内唯一の外車販売店ともなっています。こんなご主人ですから、当然のことながらメカニックについては人一倍うるさく、お客さまから預かった修理車は全て自分でみなければ気がすまず、そのため、どんなに忙しくても従業員は雇いたくない、といった力の入れ方で、大切な部分をチェックしている時などにお客さんがきても、我れ聞せずと仕事を続け、一段落しないと話しもしないといった職人気質をつらぬいている人なのです。

互いに無いもの、できないものをカバーし合うのが、ご商売を営むご夫婦の好ましい姿、雅子さんもこうしたご主人の人柄というか仕

事ぶりを100%カバーしています。

雅子さんの活躍ぶりもさることながら、林モーターズさんの繁盛は、こうしたご主人の人柄、働きぶりに負うところが大きく、技術力の優秀さは口コミによって広く伝わり、他店で購入した人まで、修理を頼みにきます。ご主人はこれを一さい拒みません。そして、いい加減な仕事ができない性分ですので1台1台丹念にみます。ですから店の裏は預かった修理車で一ぱいとなり、その数はいつこうに減る気配をみせません。こんな状態ですから修理には日数がかかりますが、お客さまはそれを承知で置いていきます。

「なにしろ忙しくて、趣味や、近所の奥さまづき合いを楽しんでる暇などないですね。たまには欲得ぬきで休みたい、と思うことも正直いつてありますが、主人も一生懸命頑張っていますので、わたくしもできるだけの手伝いをしていくわけです。」

シーズン中にたくさん儲けさせていたで、シーズンオフに家族そろって旅行するのが楽しみといえは楽しみです。ヤマハの新車や、外車の見学に東京の自動車ショーにみんまで行くのも楽しみのひとつです。

でも、いま、お父さんとわたくしが、毎日4〜5時間しか寝ないで頑張っているわけは、ほんとうは早く実現させたい夢があるからなんです。それは、郊外に3階建の店舗をもつこと。1階が店舗、2階は免許教室などに使える会議室、そして3階が住まいの、いまよりもっと大きなお店を……。そうすれば、夜遅くにエンジンをかけても近所に気がねしないですすみますし、もっともっと多くのお客さまにきてもらえますから……。」

雅子さんとご主人のこの夢は近い将来に実現しそうです。

(札幌市豊平区平岸2条7丁目)

★全日本モトクロス選手権第7戦四国大会

瀬尾、本領発揮の

3ヒート独占!!

第7戦となった今年の四国大会も、会場は昨年と同様、愛媛県の道後温泉を奥に入った松山オートランドで7月23、24日に開催され、好調の波に乗る瀬尾勝彦が2ヒート制で行なわれたセニア125cc、250ccで3ヒートを独占、いよいよ持てる本領を発揮してダブルタイトルに向けて快走をつづけている。

第6戦札幌大会でヤマハの四天王（杉尾良文、瀬尾勝彦、藤秀信、光安鉄美）はセニア125ccの4位ま

でを独占したが、今回もこのクラスは瀬尾を筆頭に杉尾、藤、光安の順で総合4位までを占め、無敵の感を一層強くした。現在このクラスのポイントランキングは、ヤマハ四天王が上位4位を文句なくおさえ、122点の瀬尾をトップに7点差で杉尾が追っている。

125ccの2ヒート優勝で瀬尾の250ccでの走りが注目されたが、第1ヒートの1周目で瀬尾は他のライダーと接触して転倒、アクセルグ

リップからワイヤーが切れ、無念のリタイヤ。このレースは一番の強敵竹沢正治（カワサキ）が持ち前の馬力を示して優勝。藤、杉尾がそれぞれ2位と3位に入った。

瀬尾はしかし第2ヒートでは、慎重なスタートながら見る見るトップを奪い、後半で藤を抜いて2位に上がってきた竹沢に大差をつけて第1ヒートの雪辱を果たした。

この結果250ccのポイントランキングは竹沢が19点でトップにあるが、瀬尾はこれをわずかに3点差で追いついて、このあとに藤、杉尾、光安がつけている。残る3戦に興味を持たれるところだ。

ヤングライダーで注目されたのはジュニアの小沢孝だ。第6戦で125cc、250ccにダブル優勝した小沢は、またも連勝、瀬尾と並んでダブルタイトルの最右翼にいる。



セニア250cc第2ヒートで、この大会3勝目を目前にした瀬尾の走りは注目的だった



E350チャンピオンを決めた④鈴木・TZ350

★全日本ロードレース選手権第7戦鈴鹿200マイルレース

TZ350の新鋭大活躍

鈴木修チャンピオン決定

E350

9月の10、11日に開催されるシリーズ戦のハイライト、日本グランプリロードレース大会の予選戦として注目された第7戦・鈴鹿200マイルが、7月30、31の両日、強烈な真夏の太陽が照りつける鈴鹿サーキットで開催された。

ジュニア250/350、エキスパイト350/750の上級4クラスに限定されたこのレースは、100マイル(27周)×2ヒート、豪快なクラッチスタート、一回の給油ピットインの義務づけ……と見所も多い。毛利良一、酒井克らシリーズ初参加のTZ750Dのリードでスタートした第1ヒートで注目を集めたのは、なみいる750ccマシンを相手にTZ350で善戦する④長谷利之

(月木レーシング)の⑨というゼッケンが示すこの新鋭エキスパイトは、序盤からトップグループをびつたりマーク、河崎裕之(スズキ)、毛利良一につづいて堂々総合3位に食い込んで驚異の目を集めた。

間に四輪レースを挟んで再開された第2ヒート。再び長谷の健闘がつついたが、中盤惜しくも転倒リタイア。河崎、毛利とつづき先頭グループを追って、再び激しいデッドヒートを演じるTZ350の新鋭たちに熱い視線がまったが、この第2ヒートではジュニア350の徳伸とエキスパイト350の鈴木修(ブレイメイTRT)の走りが話題を呼んだ。

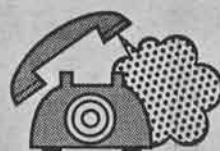
走り込みも十分に、安定したライディングを見せるこの両者は結局、



★世界選手権モトクロスGP

ミッコラ、500ccタイトルを獲得！ 通算3度目のチャンピオンを決定

シリーズ9戦目の英国GP（7月3日）で、9分通りタイトルを手中にしたH・ミッコラは、8月7日のベルギーGPで、2位、首位の成績



05383-2-1111

内線355

こちらヤマハ発動機

PR課です

お電話でも、巻末の折込みハガキでも、お気軽に楽しい話題、明るいニュース、これほと思う情報をお知らせください。ご質問、ご相談、本誌へのご要望もどうぞ。原稿、写真のご投稿も大歓迎です。宛先は、〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社・PR課 ニュースによっては、編集部員が取材にお伺いいたします。

を待たずにエキスパート350ccクラスのチャンピオンを決定した。

★世界選手権ロードレースGP

片山350c.c.級を制覇!!

日本で初のチャンピオン誕生

ロードレースGP 350cc級をリードしていた片山敬済（ヤマハ）は、スウェーデンGP（7月24日）、フィランドGP（7月31日）に連勝、チェコ、英国の両GPを残してタイトルを手中にした。



を取って、500cc級モトクロスのワールドチャンピオンに決定した。第1レースの首位はR・デコスタ（スズキ）で、ミッコラは2位であったが、ランキング2位のG・ウオルシンク（スズキ）が着外になったため、このレース終了時点で両ラ

イダーのポイント差は60になり、このベルギーGPで今年のタイトル争いに終止符が打たれる可能性が益々濃厚になった。第2レース、今年最後の反撃を展開するウォルシンクを振り切って首位になったミッコラの快走は、チャ

ンピオンシップ決定戦にふさわしいハイライトになった。ミッコラは1974年500cc級、昨年250cc級（いずれもハスクバーナ）と選手権を獲得しているが、今年の勝ちつぶりの鮮やかさは、予想をはるかに上回った。

今年の350cc級はチェコット（ヤマハ）対ピラ（ハーレー）の勝負とみられていたが、チェコットの負傷、ピラの不振で、第3戦の西独GPくらい片山が5勝をあげて世界選手権初制覇が成った。

日本人ライダー初の快挙である。またフォーミュラ750選手権は、7月10日の英国ラウンドに優勝したS・ペーカーが2位以下に大差をつけているので、ペーカーの選手権制覇はまず間違いのないと思われる。

SALES INFORMATION

盛況!!

真夏の夜のパツソル展示会

高知市・鏡川まつり

〔高知営業所〕9月に入ったとはいえ、まだまだ厳しい残暑のつづく高知より、この夏のアルバムからの思い出をひとつ。

こちらでは毎年、夏の夜の行事として、フェスティバル土佐鐘川まつり(高知放送・高知新聞主催)が、高知市内を流れる鏡川の河畔で開かれます。これは「美しい自然・ゆた

かな心」をテーマに、ふるさとの伝統的庶民文化の発掘育成と、県民のコミュニケーションを目的としたものです。

市民、県民の共感の広場として定着しているこの夏まつりも今年で7回目を迎え、7月30日から8月1日までの3日間に約45万人もの人出があり、にぎやかな真夏の夜となった

ものでした。

この人出をほおっておく手はないと私たちも会場の一角を借りて、パツソルの展示会を試みました。

鏡川まつりの予想以上の人出にびっくりしました。おかげで、ヤマハコーナーも連夜にわたって黒山の人だかりで、プレゼントの当たる抽選券つきアンケートも数千枚の多くを数えました。

八千草薫さんでおなじみのパツソルをじかに触れる人、ステツプスルにまたがってみる人、そしてエンジンをかけてみる人も多勢。

こうして、パツソルの「やさしさ」がより一層多くの人々に浸透していたものと確信しています。

(川島)



花ざかりの
北海道カート界

カートランド函館も誕生



〔北海道ヤマハ〕真近にせまった「77ジャパンカートレース」をひかえ、各地のカート界も活気を帯びている

ようですが、こちら北海道のカート界もきわめて活発な動きを見せています。

それを端的に物語っているのが、SLシリーズ戦への出場者の増加ぶり、7月17日に札幌セキボウランドで行なわれた第7戦では76台というこれまでの最高のエントリーがありました。

また、8月7日には新設なったカートランド函館のオープンングレースを兼ねて第8戦が行なわれました

が、ここでも旭川、青森からも含め70台以上が出場したものです。

カートランド函館は、函館市内を一望に見渡せる交通至便な所に位置し、周囲を白樺につつまれた、美しいコースで安全対策も行きたといた第一級のコースです。

北海道のシリーズ戦はこの2つのコースに大和ルスツカートコースを加えた3会場で行なわれていますが、今年になって女性ドライバーの参加や、12才の少年カートの誕生もあり、いまや北海道のカート界は花ざかりといった感じで活発な躍動をつけています。

(荒川)

SPORTS & LEISURE

内外・新旧300台を展示

第1回モーターサイクルフェア(名古屋)

夏休みもたけなわの7月29日から8月1日までの4日間「第1回モーター

サイクルフェア」が、名古屋市の吹上ホールで開かれました。

9月21～30日

秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動が9月21日(水)より30日(金)までの10日間にわたって実施されます。今回の運動の重点は①歩行者・自転車利用、特に子供と老人の交通事故防止 ②シートベルト着用の推進 ③夜間における交通事故の防止——となっています。

50ccから750ccまでの最新鋭モデルに、クラシックバイク、カスタムバイクそして、レーシングマシン……と300台にものぼるバイクの一大展示は、これまでになく充実した内容で、レーシングマシンのデモンストレーションなどとあわせ2万人にのぼるバイクファンを集めたものです。

折りから開催中の「なごや夏まつり」の公式行事として愛知県、名古屋市、中部日本放送、中日スポーツの後援のもとにモーターサイクルクラブエア実行委員会が主催したものが、名古屋支店の展示によるヤマハコーナーにはパツソルからGX75



倉東京につづいて名古屋でも開かれたバイクショー。ヤマハからは一般市販車のほか輸出モデル、レーシングマシンも展示。心なつかしの旧車コーナー。内外の珍古車がファンの目を楽しませた。

バイクは友だち

●二題

0までの全ラインナップ、輸出用スポートモデルが並べられ、若いバイクマニアはもとより、夏休みの家族ずれの足をひきとめて人気の的となっていました。

「単なるバイクのショーでなく、バイクの祭典として定着させたい」と主催者側は、早くも次回の開催に意欲を燃やしています。

この夏休みの期間中、バイクを足に故郷へ帰り、また未知の土地を訪ねてツーリングを楽しむソロ、グループのライダー姿を各地で見つけたものです。写真上のGX750氏もそうした1人。広島県呉市から北海道へ向けて約1カ月の長距離ツアーを楽しんでいる最中に本誌編集部員と知り合ったもの。呉市仁方本町2-9-26の竹内弘文さん(22)で、愛車は走行1308kmのバリバリの新車。「北海道を1周する頃には馴染も終わっていることでしょう。ビッグマシンの中ではスリムで乗り



パツソル人気に便乗!

富山市西公文名町の街道ぞいで見つけた可愛い喫茶店。その名まえがなんと「パツソル」というから驚き。なんでも開店時がちょうどパツソルの発売期と重なったため、その宣伝効果に便乗したということだそうですが、パツソル同様お客さまの人も上々店主さんもとやったりと満悦とか。

やすく、とくに低速がきくのがいい」とのこと、寝袋などキャンプ用具をリヤ・シートに乗せ、混雑した東京を北に向けて元気で旅立っていました。

ツーリング中のマナーはまさに模範的なもの。ふだんはカーブミラーの清掃や交通関係の行事にも積極的に協力しており、バイクを共通の仲立ちとして健全なモーターサイクルスポーツの世界を広げています。

いっぽう写真下は岡山県高梁市横町のフレンド店・近藤商会さんに本部をおくBTC(備中ツーリング倶楽部)が、それぞれの愛車ヤマハ・ビッグマシンを駆って本社工場を訪れたときの記念スナップ。このBTCのメンバーはいずれも社会人の方ばかりで結成されているもので、現職の警察官の方も加わっており、



クイックサービスコーナー

ストップランプが点灯しない/消灯しない

秋の日はつるべおとし、というわけでもありませんが、今回はランプ類でもとくに大切なストップランプについてのトラブルシューティングを取上げました。項目は――

- ①ブレーキをかけても点灯しない
- ②ブレーキをはなしても消灯しない

――の2点について、その使用状況からとくに重点的に行なっていただきたいL B系（チャピイ/ポビイ/ジッピイ）、メイト系を対象にサービス・ポイントをご案内します。

まず、①点灯しないについてこの作業手順は次の1～8項にわたります。

1. ブレーキ調整の確認

前輪のレバーの遊びは根本部で5～8mm
後輪のペダルは踏み代で20～30mmが正規

2. 電球の確認

球切れ→交換
接触不良→修正または交換

3. バッテリーの確認

バッテリー上り→補充電
バッテリー不良（補充電不能→交換）

4. ヒューズの確認

ニュートラルランプ、ホーンが正常に作動すれば良好です。

5. レバー、ペダルの作動確認

戻り不良→修正、給油
ワイヤー錆付→修正、給油。不良は交換
ブレーキカム（ハブ内）の戻り不良→修正
およびグリス補給
ブレーキライニングシューの摩耗→交換

6. ストップスイッチ単体の確認

スイッチ作動の調整→後輪ブレーキの遊び調整後は必ずスイッチの作動調整が必要。スイッチレバー取付ボルトをゆるめレバーの位置を調整。向って左にすれば早く、右にすれば遅く作動する。戻り不良は交換。
ストップスイッチの導通テスト→ヤマハポケットテスターで確認。Ω×1においてストップスイッチを作動させたとき針が振れば良好。針が振れない場合は不良で交換。スイッチ作動させずに針が振れるものももちろん不良で交換。
（ヤマハポケットテスターは積極的に使っていきたいものです。）

7. メインスイッチの確認

ニュートラルランプ、ホーンが正常に作動する→良好。導通テストはΩ×1で、針が振れ0Ωを指す。針が振れないものは継線ありで交換。針が振れても0Ωを指さないものは機能不良で交換。

8. 配線の確認

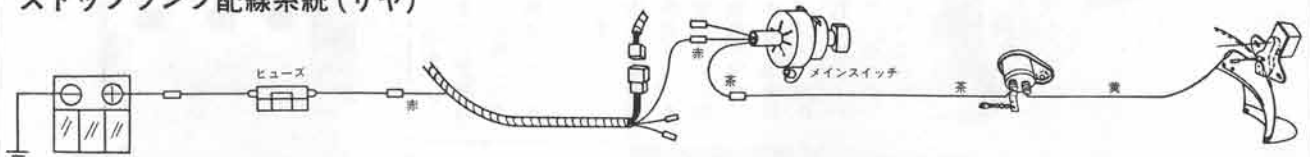
カップラー（連結部）、コネクタ（接続線部）の差込みの確認。

ワイヤーハーネス（組み配線）の確認→ブレーキレバーすなわちフロントの作動系は緑/黄色線、ブレーキペダルすなわちリヤの作動系は茶/黄色線で、Ω×1で針が振れば良好。針が振れないとすればどこかで断線あり。修正または交換。

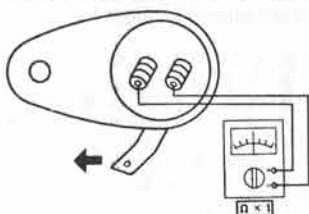
電球ソケット部の確認→Ω×1で針が振れ0Ωを指せば良好。針は振れるが0Ωを指さないものは接触不良で修正または交換。針が振れないものは断線で修正または交換。

つづいて②消灯せずですが、これは前述①項の1. 5. 6に関連します。どちらかといえば修正のしやすい作業です。

ストップランプ配線系統（リヤ）

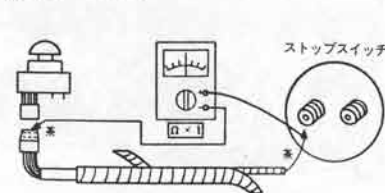


ストップスイッチの確認



1. レバーを作動しない
 - a. 針が振れない→良好
 - b. 針が振れる→不良→交換
2. レバーを作動する
 - a. 針が振れる→良好
 - b. 針が振れない→不良→交換

配線の確認



- a. 針が振れる→良好
- b. 針が振れない→不良
断線→修正または交換



行こう「菅生」へ!! 世界のトップドライバーの走りを見よう

9/22 THU 公式練習 23 FRI タイムトライアル 24 SAT 予選ヒート 25 SUN 決勝

FIA・JAF公認/賞金総額358万円/参加10カ国・日本で最初の国際レース

'77 ジャパンカートレース



- 主催 仙台放送・SLカートクラブ
- 会場 スポーツランド菅生
宮城県柴田郡村田町菅生 ☎022483-3111
- 種目 スプリント・カートレース
 1. インターナショナル・チームレース=(国際)
 2. パシフィック・チャンピオンシップ=(国際)
 3. ジャパン・チャンピオンシップ=(国際)
 4. Aクラス・チャンピオンシップ
 5. Sクラス・チャンピオンシップ
 6. Sクラス・オープンレース
 7. SLクラス・チャンピオンレース
 8. SLストッククラス・チャンピオンレース
- 入場料 前売券1,200円・当日券1,800円
(公式練習・タイムトライアル・予選ヒートは800円)

※前売券は仙台放送・JAF・ヤマハ販売店・プレイガイド(仙台)・スポーツランド菅生で好評発売中!!

熱気みなぎるカートコース場を舞台に歌と踊りの楽しいバラエティショー SUGOヤングフェスティバル

出演



浅野
ゆう
子



草川
祐
馬

仙台放送開局15周年記念

レースとあわせてテレビ中継/25日PM1:30開演

■協賛



松下通信工業(株)/(株)日本ダンロップ/日本チャンピオン(株)/ディンキーカートサービス/ヤマハ発動機(株)/スポーツランド菅生

■協力



キャセイパシフィック航空会社

決め手はクッション。 みんなに好かれるヤマハです。



CUSHIONBIKE*20
クッションバイク*20



カラー：オレンジ/グリーン
オプションパーツ：フロントバスケット/フロントフラップ/リヤフラップ
●デコボコ道でもラクに走れる前後のクッション。乗り心地は最高、とくになめらかです。フロント：テレスコピック式コイルスプリング。リヤ：スイングアーム式コイルスプリング。
●路面をしっかりとりえる4.4センチの太いタイヤ。
●制動力、耐久性ばつぐんのドラムブレーキ。
●5才～9才ぐらいのおさまの身長に合わせて、自由に調整できる長いセミバナナ型サドル。
●安全のための頑丈なチェーンケース。
●丈夫なブリッジ付ハンドル。
●走りがいっそうたのしくなるラップ式ホーン。
●小物が入るカッコいいバッグ。
●市販の補助輪も、簡単に取り付けられます。
標準現金価格：¥29,800



MOTO-BIKE
ヤマハモトバイク

カラー●MB1：イエロー
MB2：ライトグリーン
オプションパーツ：フロントバスケット/リヤキャリア/リヤフラップ。
●頑丈。オートパイタイプのクレードル型フレーム。
●悪路、段差もラクに乗り切る前後のクッション。フロント：ストローク65mmのセリアーニタイプ。リヤ：スイングアーム式コイルスプリング。



●力強く大地をキャッチ。5.4センチの太いタイヤ。
●水に濡れても強力な制動力を発揮するドラムブレーキ。耐久性も抜群。
●長いバナナ型サドル。高さ710mmから800mmまで5段階に調整可能。的確なライディングポジションを確保。
●ハンドルは、MB1：オフロードタイプでブリッジ付き。MB2：普通の道からデコボコ道までラクな姿勢で走れるアップハンドル。
標準現金価格：46,800



cushion mini
クッションミニ 24



カラー：パールホワイト/ライトグリーン
●どんな道でもなめらかに走れるクッション付きセンターサスペンション。自転車では初めて。
●小柄な方から背の高い方まで、ラクな姿勢で乗れるフレーム設計。
●安全のための大切なブレーキは、後輪に強力な内括式を採用。
●軽く走れるしなやかなアメサイドタイヤ。
●好きな服装で、安心して乗れるフルチェーンケースと、後輪のドレスガード。
●夜間も安心して走れる12極6V3Wの明るいライト。
●フロントにはバスケット、リヤにはキャリア。毎日のお買物に、とっても便利。
標準現金価格：¥39,800